

月日	時間	セッション名	演者	演題名	リウマチ学会	リウマチ財団 登録医 リウマチケア	日展会
12月7日	9:00 ~10:00	教育研修講演5	①二木 康夫	ロボット支援人工膝関節置換術の現状と今後の課題		06-264-01	N[6,12] R
	9:00 ~11:00	ハンズオン セミナー	②池田 啓	超音波による関節リウマチ評価の実践		06-265	N[6] R
	9:30 ~10:30	教育研修講演1	③奥 健志	抗リン脂質抗体症候群		06-264-02	N[1] R
	10:40 ~11:40	スポンサード セミナー1	鈴木 智	生物学的製剤時代のEGPA診療 ~長期予後を見据えた治療と合併症マネジメント~			N[6] R
		教育研修講演2	④野崎 太希	脊椎関節炎の画像診断アップデート		06-264-03	N[6,7] R
	12:00 ~13:00	ランチョン セミナー1	⑤望月 猛 ⑤林 太智	RA-ILDのマネージメントからみたパリンチニブの可能性 パリンチニブの臨床的価値より良い関節リウマチ診療を目指して~		06-266-01	N[6] R
	12:30 ~13:30	ランチョン セミナー3	⑥中村 幸男 ⑥中島 亜矢子	関節リウマチにおける関節破壊抑制メカニズムについて~JAK阻害剤の 可能性を探る~/診療ガイドラインと全例調査からJAK阻害薬の適正使用 を考える		06-266-01	N[6] R
		ランチョン セミナー4	⑦野澤 和久	関節リウマチにおけるTNF阻害薬治療が適する患者について ~TNF阻害の意義を再考する~		06-266-01	N[6] R
	13:20 ~14:20	JCR関東支部地域 教育研修会1	⑧榎本 憲人	最新の薬剤耐性菌感染症の治療戦略	感染	06-264-04	N[6] R
	14:00 ~15:00	アフタヌーン セミナー1	⑨秋山 光浩 ⑨樋口 智昭	RAに合併する間質性肺炎にwindow of opportunityはあるか~IL-6阻害 の重要性含めて~/RWDから腎障害合併関節リウマチに対する治療戦略 を再考する		06-267-01	N[6] R
		アフタヌーン セミナー2	⑩荒木 靖人	医療経済の観点から関節リウマチ治療を考える		06-267-01	N[6] R
	14:30 ~15:30	教育研修講演3	⑪桐野 洋平	VEXAS症候群の診断と治療の現状		06-264-05	N[6] R
	15:40 ~16:40	教育研修講演4	⑫杉原 毅彦	巨細胞性動脈炎とリウマチ性多発筋痛症の診断と治療		06-264-06	N[6] R
	17:00 ~18:00	イブニング セミナー1	⑬横田 和浩	関節リウマチ治療の新戦略~骨破壊メカニズムの観点から考えるJAK阻 害薬使用の意義と展望~		06-268	N[6] R
12月8日	10:40 ~11:40	教育研修講演6	⑭田巻 弘道	ANCA関連血管炎 ~診断から治療まで~		06-264-07	
		スポンサード セミナー2	⑮竹内 勤	新規TNF阻害薬オゾラズマブの最新知見		06-269	N[6] R
	12:00 ~13:00	ランチョン セミナー5	⑯秋山 光浩 ⑯花岡 洋成	間質性肺炎を考慮したRA治療戦略 慢性腎臓病と関節リウマチ リウマチ医の視点で腎臓を守る		06-266-02	N[6] R
		ランチョン セミナー6	⑰金子 祐子 ⑰川畑 仁人	SLE治療における生物学的製剤が果たす役割~アネフルマブを中心に ~/全身性エリテマトーデスの病態に関する最新知見~アネフルマブ の役割を考える~		06-266-02	
	12:10 ~13:10	ランチョン セミナー7	⑱高桑 由希子 ⑱一瀬 邦弘	国内外のエビデンスからトファシニブ安全性を考える JAK阻害薬のポジショニングを再考する~11年のエビデンスより~		06-266-02	N[6] R
		ランチョン セミナー8	⑲増本 純也 ⑲岸田 大	自己炎症疾患におけるIL-1βの活性化制御とその寄与 家族性地中海熱update		06-266-02	
	13:20 ~14:20	JCR関東支部地域 教育研修会2	⑳中島 勤	医療安全管理のために知っておきたい法的知識	医療安全	06-264-08	N[14-5]
	14:40 ~15:40	アフタヌーン セミナー3	㉑藤尾 圭志	関節リウマチにおける抗原提示細胞と共刺激阻害療法の最新の知見		06-267-02	N[1,6] R
	14:50 ~16:50	アフタヌーン セミナー4	㉒川人 豊 ㉒川畑 仁人	RA診療ガイドライン2024の改訂ポイント~MTX皮下注の有用性をふま えて~/関節リウマチにおけるメトトレキサート治療の最適化~MTX皮 下注のはたす役割を考える~		06-267-02	N[6] R

[日本リウマチ財団 リウマチケア専門職 [認定番号]カリキュラムコード]

①③(06-252K・Y・R-01)/④(-2)/⑤⑥⑦(-3)/⑧(-4)/⑨⑩⑪(-5)/⑫(-6)/⑬(-7)/⑭⑮(-8)/⑯(-9)/⑰(-10)/⑱⑳(-11) 各1単位
㉑(-12) 2単位

看護師 [06-252K-01~12]

①②③④⑤⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

薬剤師 [06-252Y-01~12]

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

理学・作業療法士 [06-252R-01~12]

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

[日本整形外科の単位について]

取得単位: [N]日展会専門医単位 [R]リウマチ医単位

必須分野: [1]整形外科基礎科学 [6]リウマチ性疾患、感染症 [7]脊椎・脊髄疾患 [12]膝・足関節・足疾患 [14-5]1~13に当てはまらない領域講習